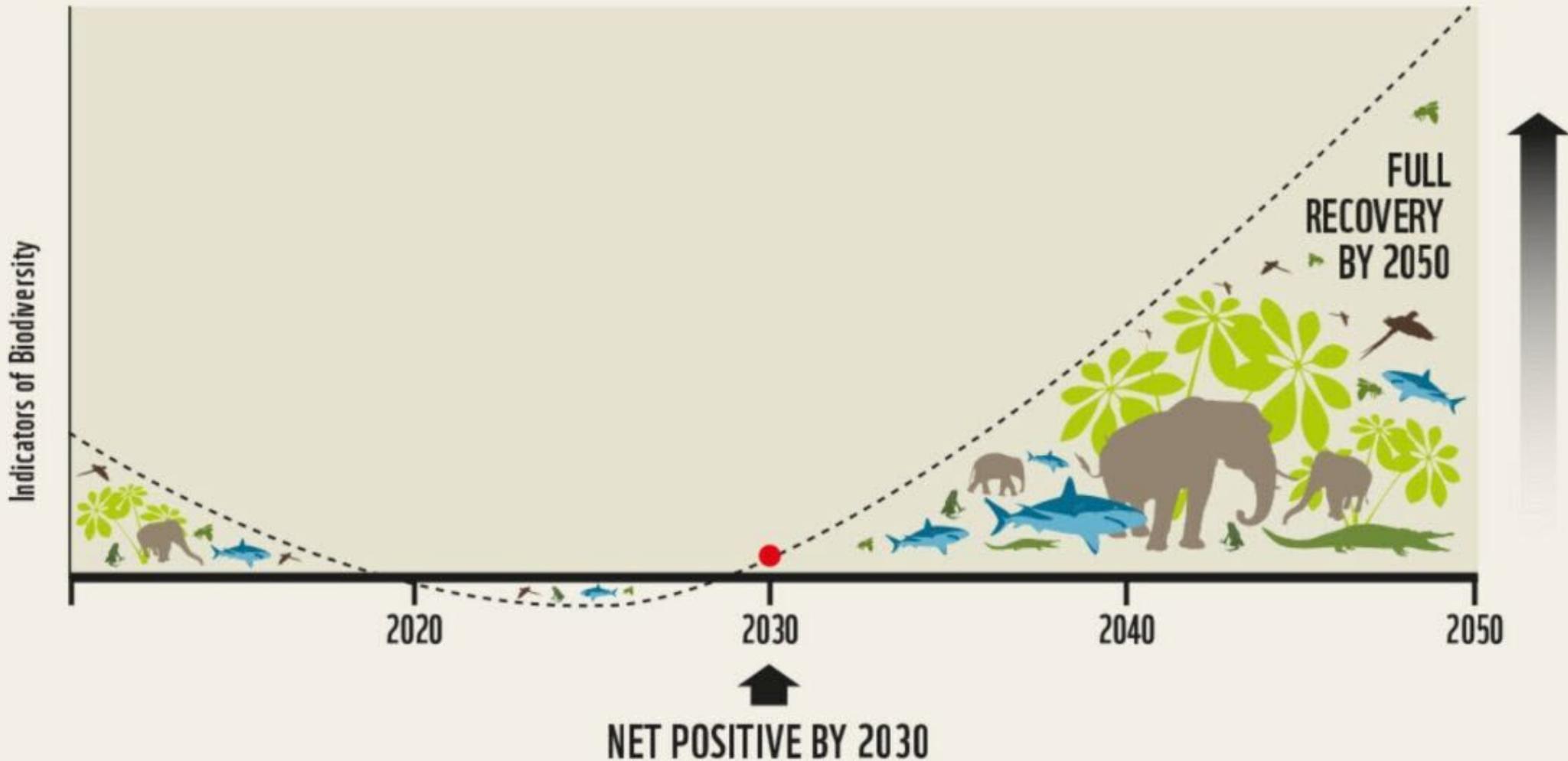


事例紹介② ネイチャーポジティブに向けた日本企業の動向

生物多様性と生態系サービスユニット 副ディレクター

高橋 康夫

Nature Positive by 2030



背景① 昆明・モンリオール生物多様性枠組（GBF）

2050年ビジョン：
自然と共生する世界

2030年ミッション：生物多様性の損失を止め反転させるための緊急行動をとり、
自然を回復軌道に乗せる

2050年ゴール

ゴールA
保全

ゴールB
持続可能な利用

ゴールC
遺伝資源へのアクセスと利益配分
(ABS)

ゴールD
実施手段の確保

2030年ターゲット

(1) 生物多様性への脅威を減らす (3) ツールと解決策

- 1：空間計画の設定
- 2：自然再生
- 3：30by30
- 4：種・遺伝子の保全
- 5：生物採取の適正化
- 6：外来種対策
- 7：汚染防止・削減
- 8：気候変動対策

(2) 人々のニーズを満たす

- 9：野生種の持続可能な利用
- 10：農林漁業の持続的 management
- 11：自然の調節機能の活用
- 12：緑地親水空間の確保
- 13：遺伝資源へのアクセスと利益配分(ABS)

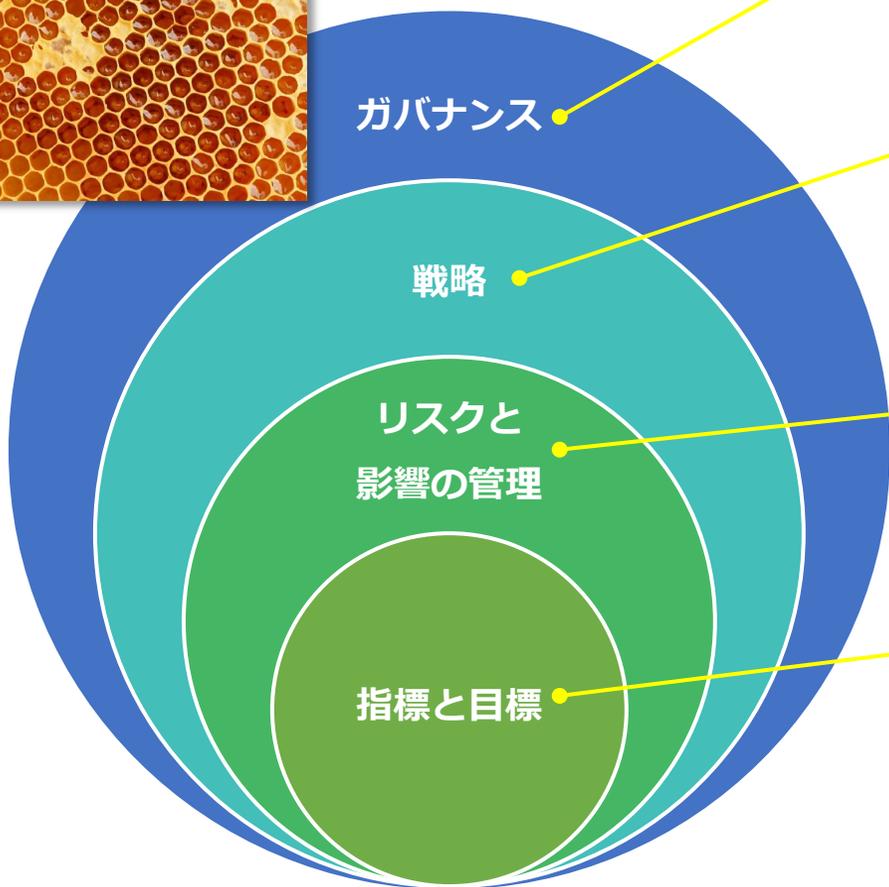
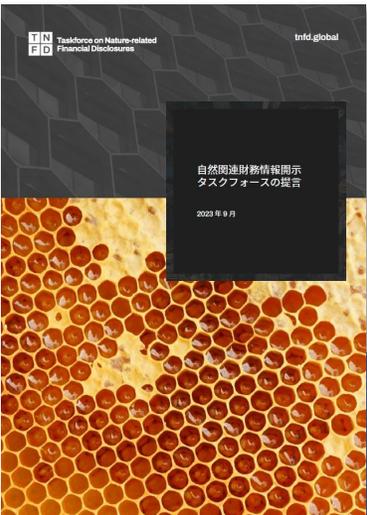
- 14：生物多様性の主流化
- 15：ビジネスの影響評価・開示
- 16：持続可能な消費
- 17：バイオセーフティー
- 18：有害補助金の特定・見直し
- 19：資金の動員（公共・民間）
- 20：能力構築、技術移転
- 21：知識へのアクセス強化
- 22：女性、若者及び先住民の参加確保
- 23：ジェンダー平等の確保

非国家主体による GBF達成への貢献

(決定COP16/2議題10附属書II)

- 「全政府・**全社会**アプローチ」
- **報告事項**：活動名、KPI、該当するKMGBFターゲット・国別目標・ヘッドライン指標、活動の地理的範囲、SDGsへの貢献など

背景② 自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）



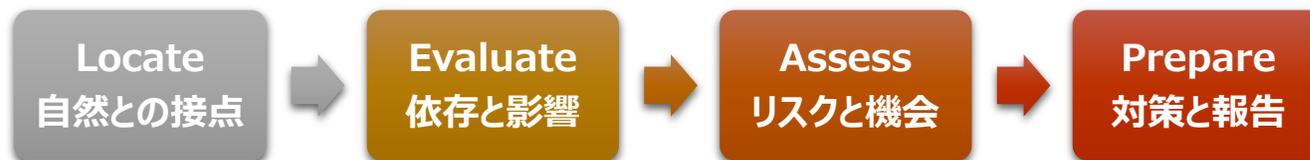
- A. 取締役会の監督
- B. 経営者の責任
- C. **先住民・地域コミュニティ等影響を受ける人々の関与と人権への対応**

- A. 自然に関する依存・影響とリスク・機会
- B. 自然に関する依存・影響とリスク・機会が事業に与える影響
- C. 自然に関する依存・影響とリスク・機会への事業のレジリエンス
- D. 直接操業及び**バリューチェーン上下流の資産・活動**の所在地

- A. (i)直接操業の自然依存・影響及びリスク・機会の評価プロセス
- A. (ii)**バリューチェーン上下流**の評価プロセス
- B. 自然依存・影響及びリスク・機会の管理プロセス
- C. 組織全体のリスク管理プロセスへの統合

- A. リスク・機会の評価・管理の測定指標
- B. 依存・影響の評価・管理の測定指標
- C. 目標と進捗

◆ 評価の進め方ガイド：LEAP



企業のNPへの取組の進展： 経団連自然保護協議会アンケート(2024年度)

◆ 調査項目

- 生物多様性の経営への主流化
- GBFへの貢献
- TNFDへの対応状況
- 課題、気候変動との統合的対応など

◆ 調査対象

- 経団連企業会員（1,574社<2024年4月時点 経団連自然保護協議会会員含む>）

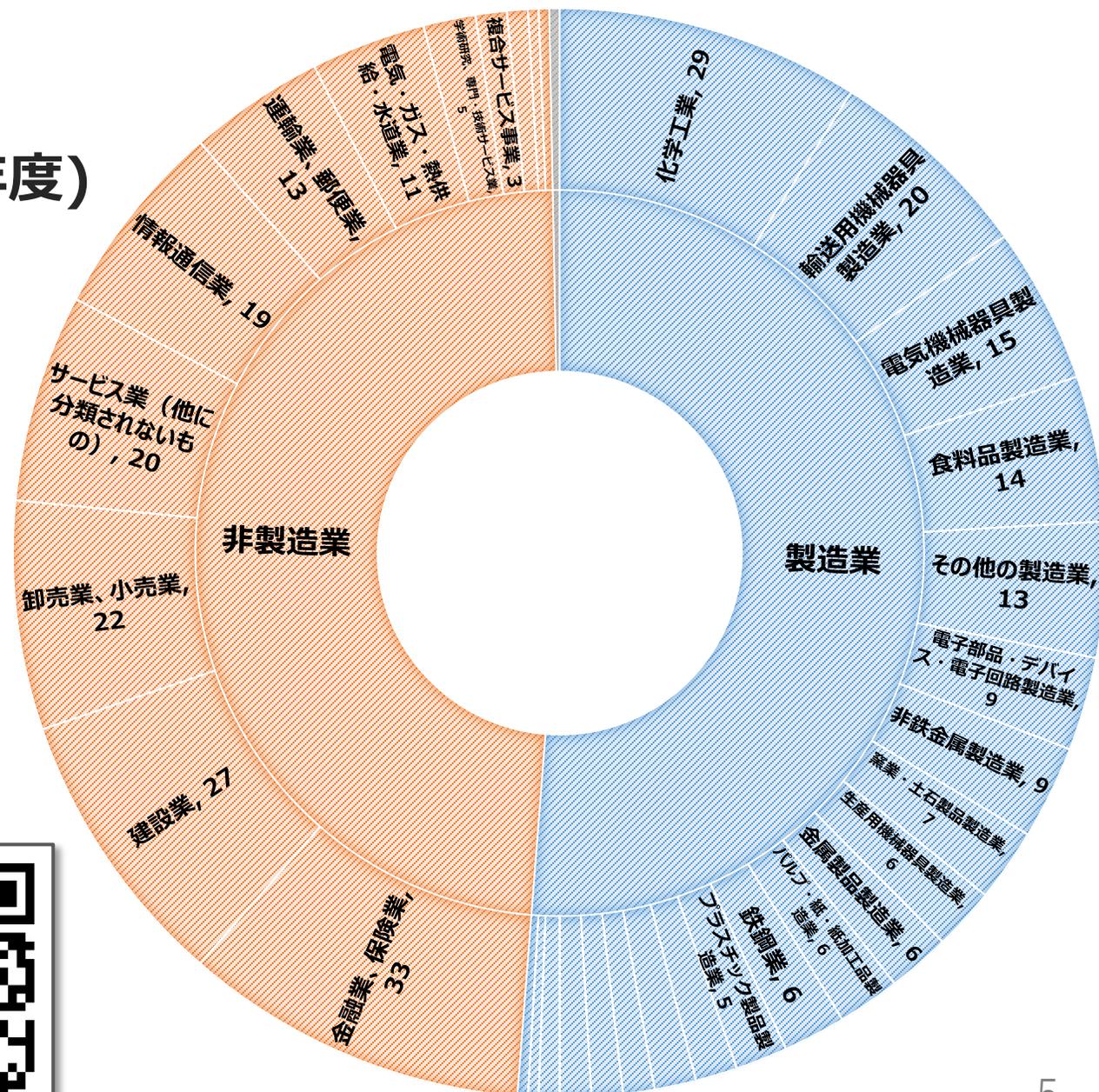
◆ 調査期間

2025年4月～6月

◆ 有効回答数

334社

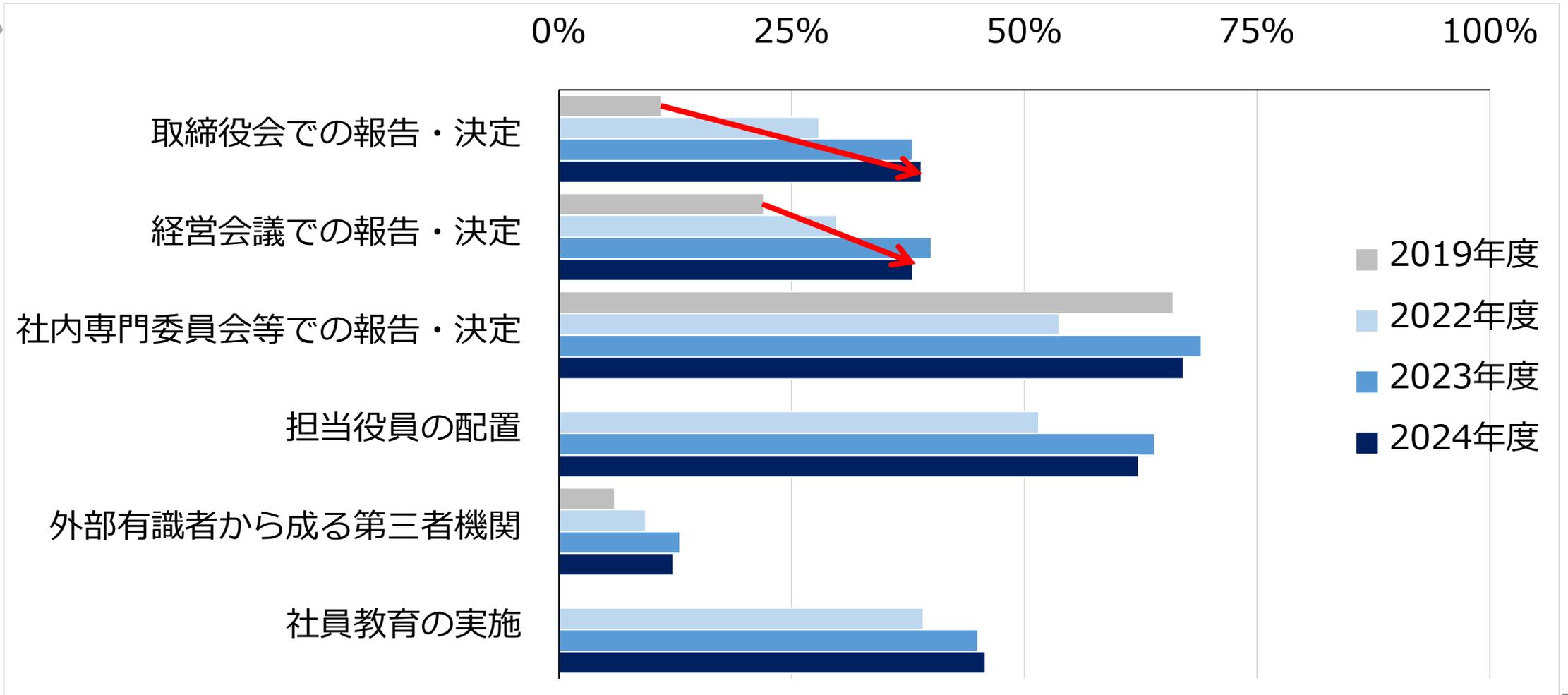
詳しくはこちら👉



1. 生物多様性の経営への主流化

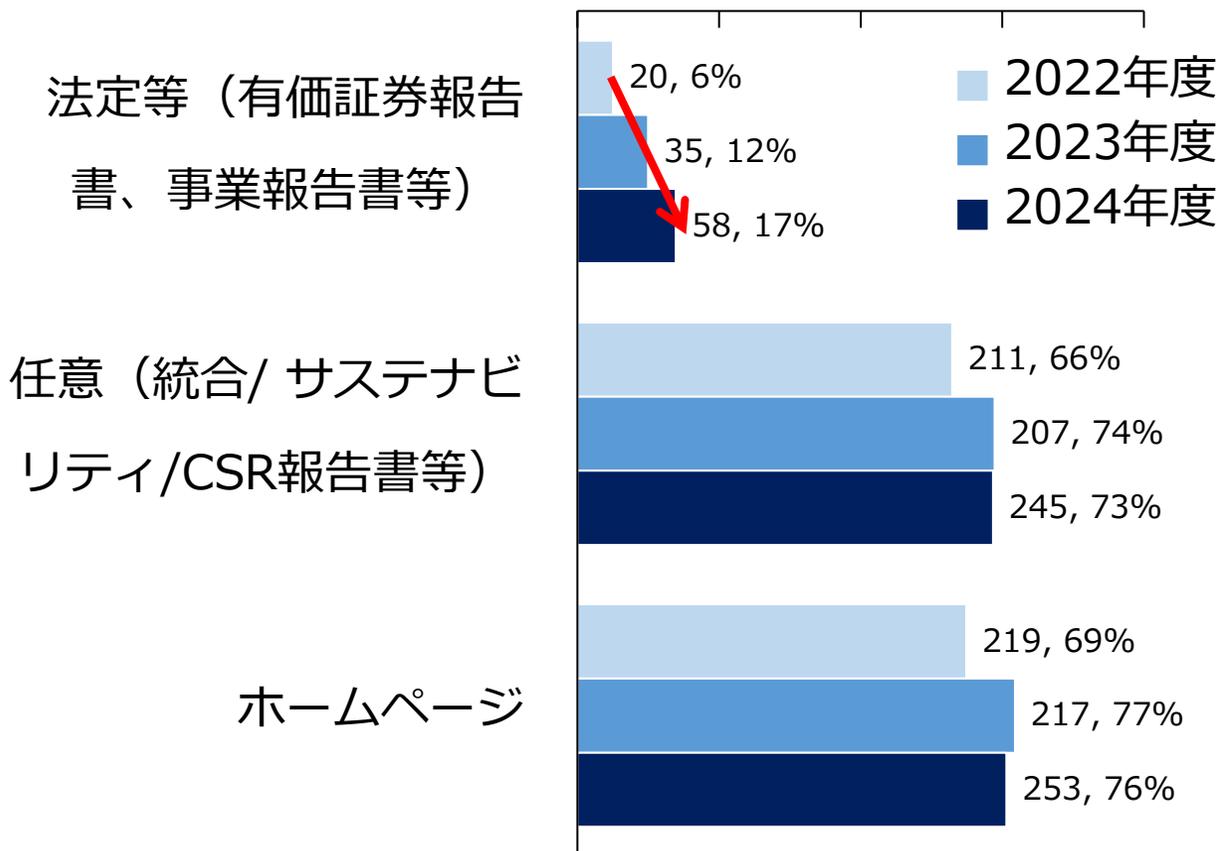
生物多様性に関する監督・意思決定の体制

より上位の決定・報告・関与



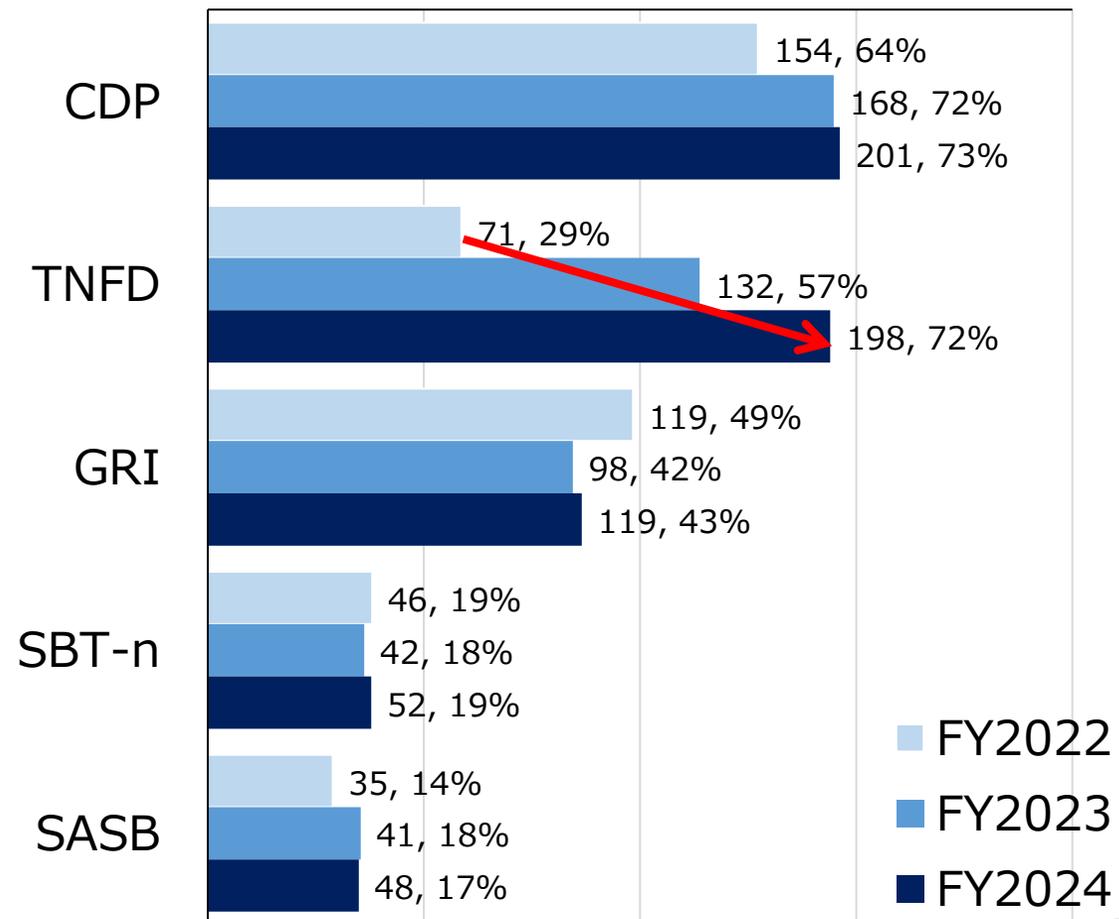
生物多様性に関する情報開示の媒体 (N=334)

0% 25% 50% 75% 100%



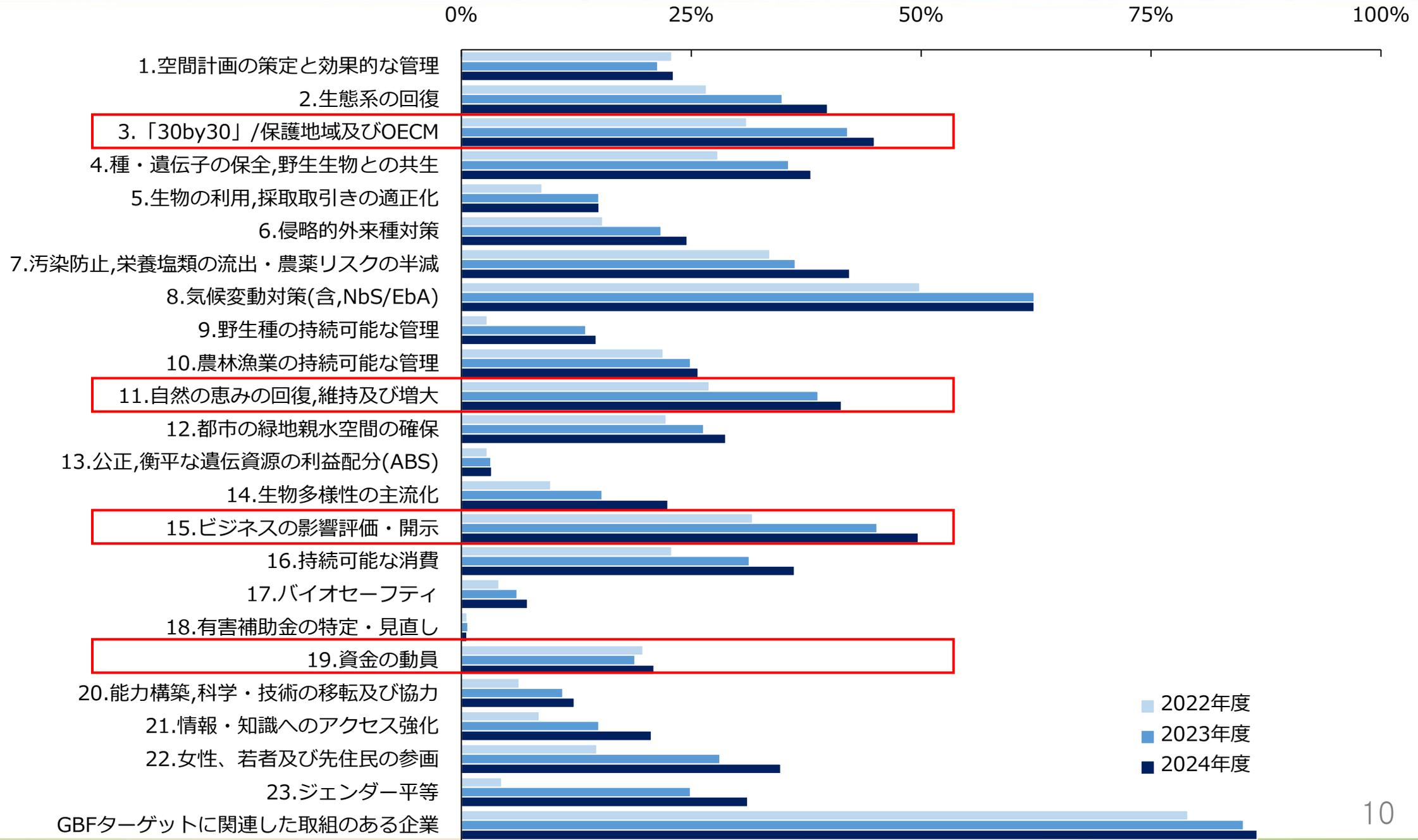
情報開示の際に参照・準拠した 枠組又はガイダンス (N=275)

0% 25% 50% 75% 100%



2. GBFへの貢献

GBFの各ターゲットに該当する
取組のある企業の割合



GBFの各ターゲットに該当する取組のある企業の割合（産業部門別）

GBFターゲット	製造業										非製造業								
	食料品/飲料・たばこ・飼料	パルプ・印刷	化学工業	鉄鋼・非鉄金属・金属製品	電子部品・デバイス・回路等	電気機械器具	機械器具類	輸送用機械器具	その他（製造業）	建設業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	サービス業（他に分類されないもの）	その他（非製造業）	
1.空間計画の策定と効果的な管理	24	43	14	14	22	7	6	55	25	41	73	16	8	18	6	60	20	8	
2.生態系の回復	41	57	24	48	22	13	38	60	38	59	55	21	54	55	45	30	25	25	
3.「30by30」/保護地域及びOECM	41	71	34	57	22	60	31	70	53	59	73	26	31	36	42	80	15	25	
4.種・遺伝子の保全,野生生物との共生	47	86	17	52	22	47	50	75	31	41	55	21	54	45	27	40	5	25	
5.生物の利用,採取取引の適正化	41	57	3	5	22	0	19	0	25	30	9	5	23	36	3	10	5	0	
6.侵略的外来種対策	18	71	21	14	11	27	38	50	19	41	45	16	38	9	18	10	10	25	
7.汚染防止,栄養塩類の流出・農薬リスクの半減	65	57	59	48	22	47	50	30	59	44	55	21	62	55	15	20	25	25	
8.気候変動対策(含,NbS/EbA)	59	71	72	71	33	53	25	80	63	70	100	37	54	77	73	50	50	50	
9.野生種の持続可能な管理	12	43	0	14	22	7	31	20	13	19	18	11	15	18	15	20	10	8	
10.農林漁業の持続可能な管理	65	43	21	14	11	0	19	15	13	30	36	32	8	68	39	30	10	0	
11.自然の恵みの回復,維持及び増大	53	57	55	38	33	20	31	45	34	48	55	21	46	68	45	40	20	25	
12.都市の緑地親水空間の確保	12	29	21	33	22	20	25	50	28	67	55	21	15	23	15	70	10	17	
13.公正,衡平な遺伝資源の利益配分(ABS)	12	14	3	0	0	0	6	0	9	7	0	0	0	0	0	0	5	0	
14.生物多様性の主流化	29	29	21	10	0	27	31	25	16	33	18	16	15	36	30	10	15	25	
15.ビジネスの影響評価・開示	65	71	52	52	22	40	50	45	41	52	82	53	62	50	67	30	30	25	
16.持続可能な消費	71	57	24	33	44	20	38	30	50	41	36	21	23	59	33	20	35	8	
17.バイオセーフティ	29	0	28	0	0	0	13	0	13	7	0	5	0	5	3	0	0	0	
18.有害補助金の特定・見直し	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	
19.資金の動員	29	29	17	14	0	7	25	10	22	30	18	11	23	23	45	10	15	17	
20.能力構築,科学・技術の移転及び協力	6	29	3	0	11	13	25	10	13	22	9	16	8	14	12	0	15	25	
21.情報・知識へのアクセス強化	29	14	17	10	11	20	19	25	22	22	27	21	31	23	18	20	15	33	
22.女性、若者及び先住民の参画	47	57	31	48	0	33	19	40	38	37	45	21	46	32	45	40	20	17	
23.ジェンダー平等	41	43	31	29	0	20	19	20	31	33	55	26	46	45	36	10	35	25	
産業部門別全ターゲット平均	36	45	25	26	15	21	26	33	28	36	40	19	29	35	28	26	17	18	

GBFの各ターゲットに貢献する 企業の取組の例

GBFターゲット	取組の概要
2.生態系の回復	<ul style="list-style-type: none">• 海洋製品事業（漁礁・藻場礁）による藻場再生【窯業・土石製品製造業】• インドネシアでのネイチャーポジティブプロジェクト【金融業、保険業】
3. 「30by30」/保護地域及びOECM	<ul style="list-style-type: none">• 社有林「日影山山林・ボナリ山林」が環境省「自然共生サイト」に認定【建設業】• 鹿児島県の漁業者・漁業協同組合の自然共生サイト認定支援を通じた30by30および水産業・地域振興への貢献【金融業、保険業】

GBFの各ターゲットに貢献する 企業の取組の例

GBFターゲット	取組の概要
10.農林漁業 の持続可能な 管理	<ul style="list-style-type: none">•環境再生型農業の実践を支援する「リジェネラティブ・ティー・スコアカード」の運用【飲料・たばこ・飼料製造業】•楽器適材を生み出すサステナブルな森「おとの森」活動【その他の製造業】
11.自然の恵 みの回復・維持 及び増大	<ul style="list-style-type: none">•「水源の森林」育成活動【鉄鋼業】•鉄鋼スラグ製品による生物多様性と海辺の賑わうまちづくりへの貢献（横浜市との連携協定）【鉄鋼業】•八ツ堀のしみず谷津における湿地グリーンインフラ再生【建設業】

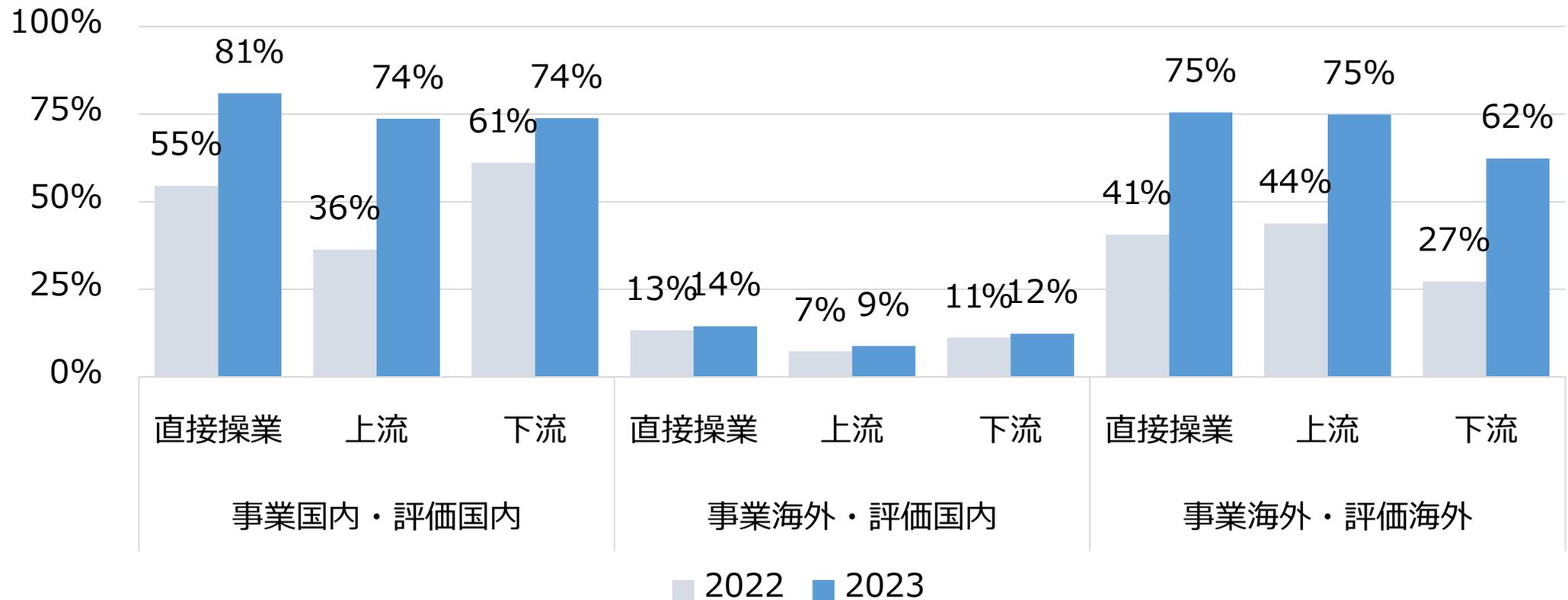
GBFの各ターゲットに貢献する 企業の取組の例

GBF Target	Activity name and description
12.都市の緑地親水空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> •生態系に配慮した造園緑化事業「5本の樹」計画【建設業】 •生態系をコンセプトにした水槽レンタル提供【金融業、保険業】 •皇居外苑濠における水辺環境改善・生態系保全プロジェクト【不動産業・物品賃貸業】
15.ビジネスの影響評価・開示	<ul style="list-style-type: none"> •農産物原料における自然資本への依存と影響を踏まえた持続可能な調達と管理【食料品製造業】 •AIを用いた食品サプライチェーンの自然関連リスク分析【金融業、保険業】
19.資金の動員	<ul style="list-style-type: none"> •富士フィルム・グリーンファンド【化学工業】 •「ネイチャー・インパクトファイナンス」の開発【金融業、保険業】

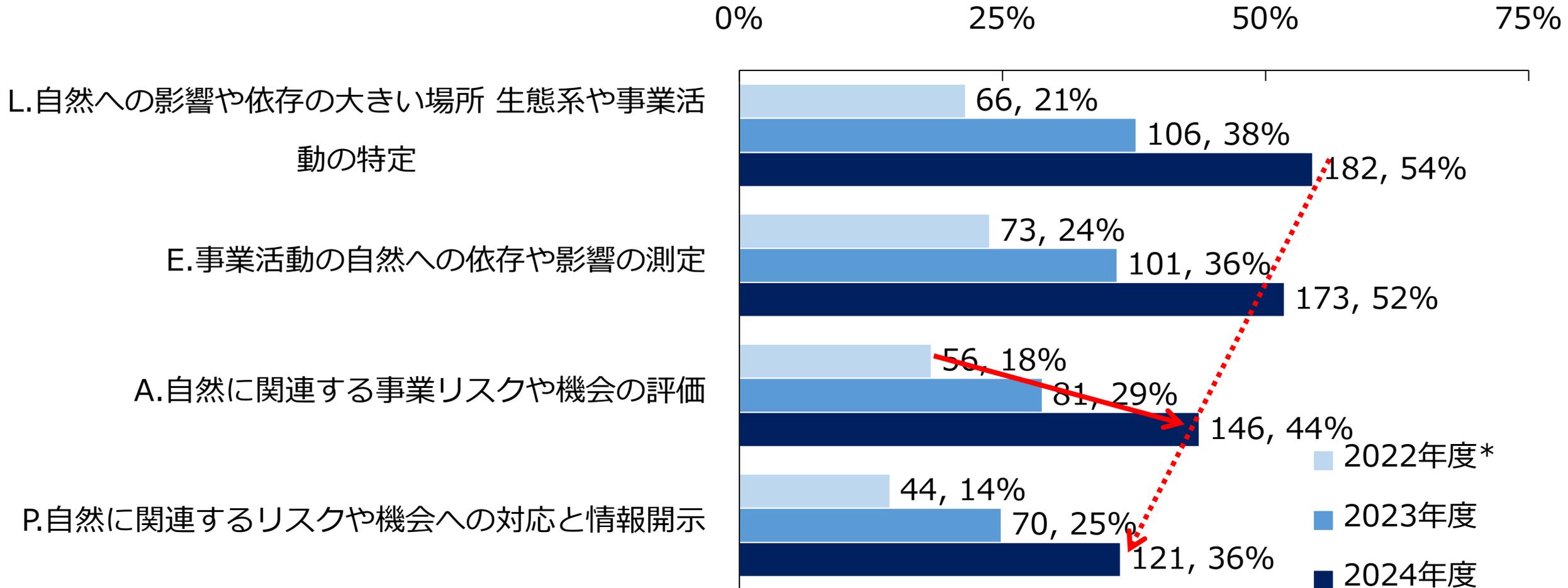
3.TNFDへの対応状況

バリューチェーンの範囲と自然への依存・影響評価の範囲

- ◆ バリューチェーン：金融機関の投融資先や保険契約引受先を含む
- ◆ 国内外のバリューチェーン評価を行う企業が増加：**バリューチェーンを通じた波及？**

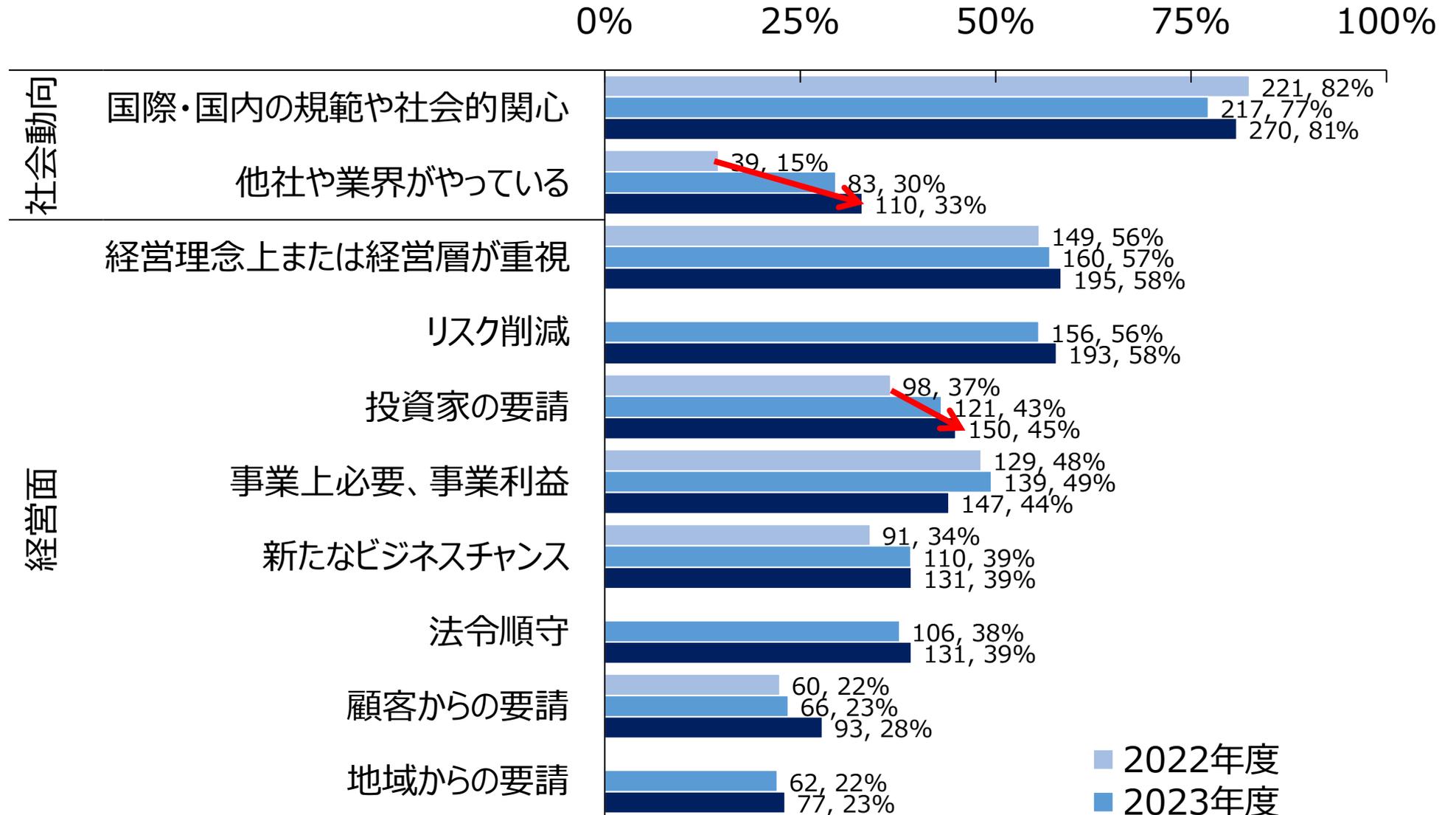


Locate, Evaluate, Assess, Prepare (LEAP)の進捗



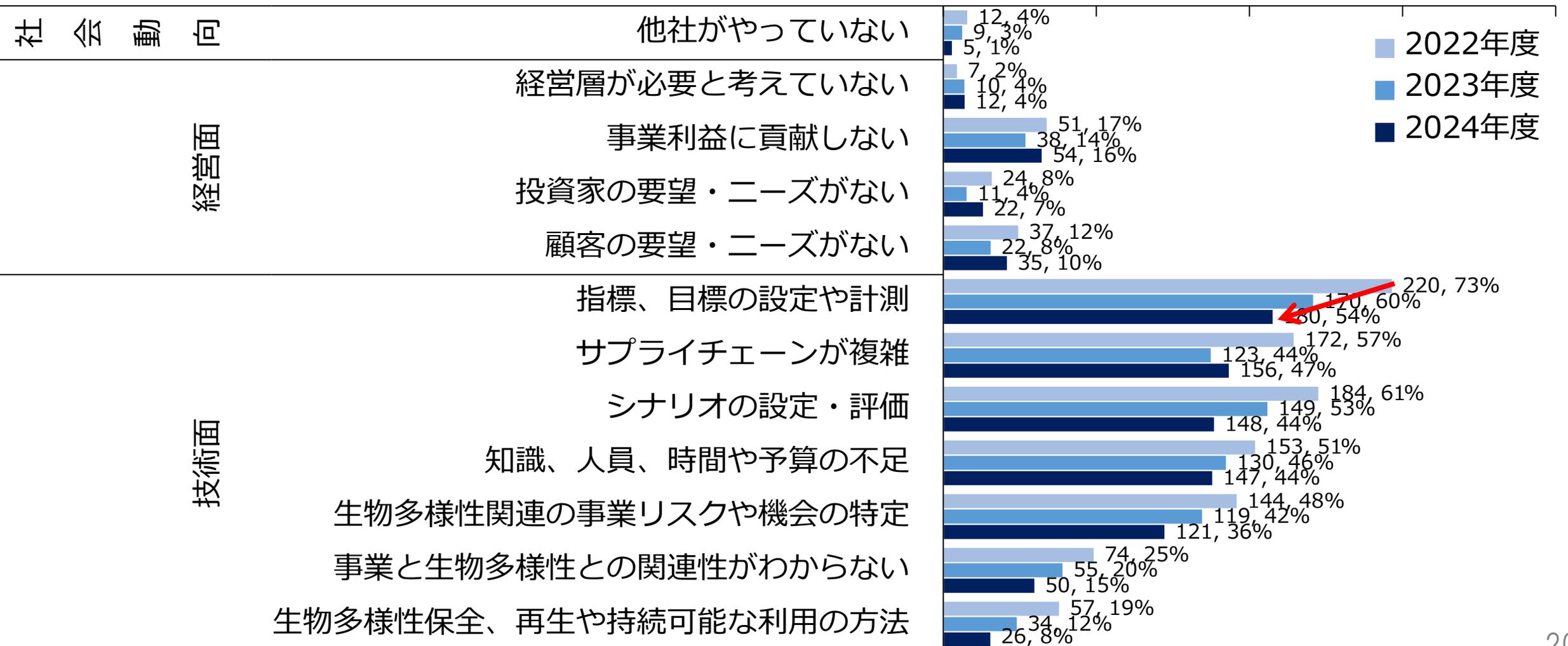
4. 課題、気候変動との統合的対応など

生物多様性に取り組む理由

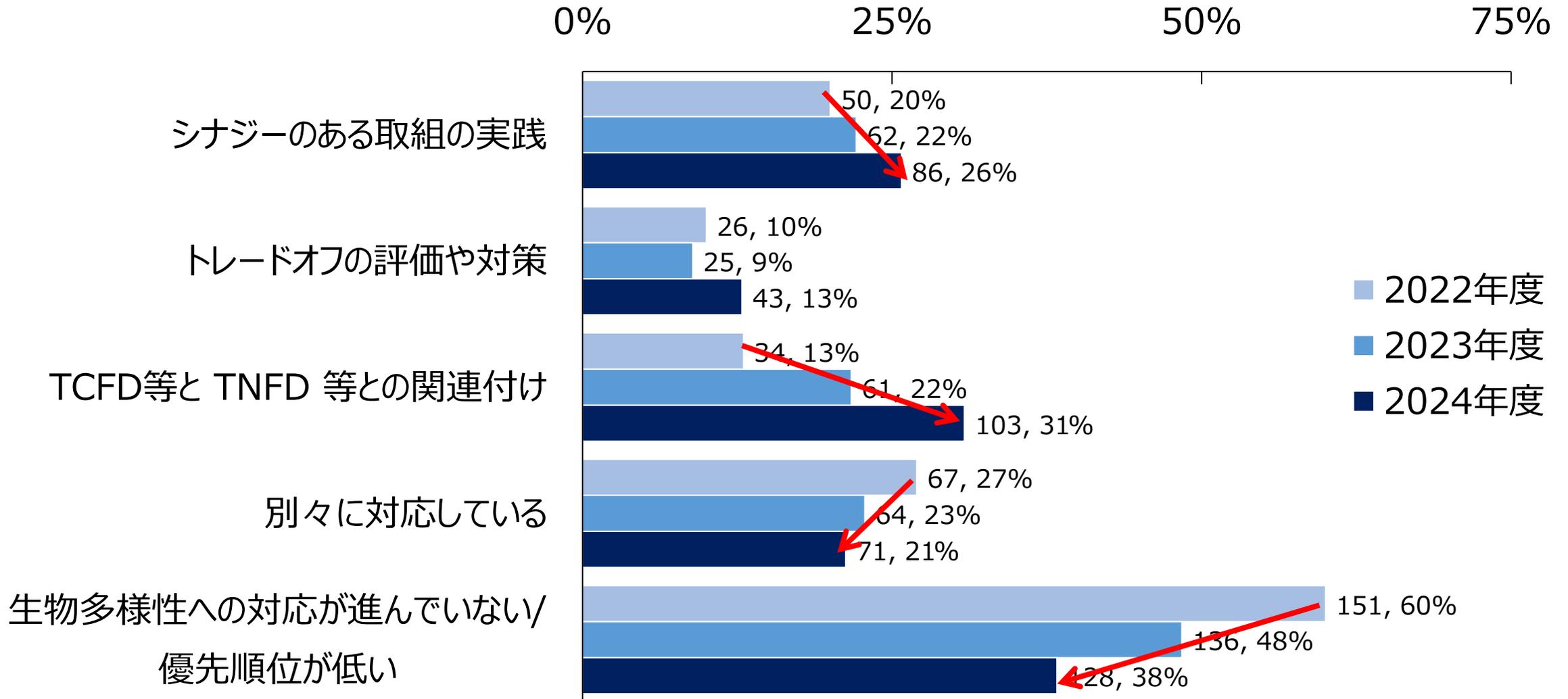


生物多様性に取り組むうえでの課題

0% 25% 50% 75% 100%



生物多様性と気候変動への統合的対応



今年の生物多様性に関する重要な国際イベント

- ◆ 2/3-9: 生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム総会第12回会合（IPBES-12）@マンチェスター
 - **ビジネスと生物多様性評価報告書**発表
 - 環境省主催の結果報告会（2/27（金））
- ◆ 10/19-30: 第17回生物多様性条約締約国会議（CBD-COP17）@アルメニア
 - GBF達成に向けた進捗の中間評価



ご清聴ありがとうございました！

生物多様性と森林領域 / 副ディレクター

高橋 康夫

IGES Institute for Global Environmental Strategies
公益財団法人 地球環境戦略研究機関